

<第140号>

事務局だより



平成26年12月10日発行

現在の会員数

合計 291名

(男性 190名)

(女性 101名)

□ 今シーズンの作業お疲れさまでした。

今年も早いもので、あと残りわずかとなりました。

当センターでは、「職群班」が設置されており、事務局を補完する立場で、各職群班の班長さんを中心に班往来の調整や運営活動にご協力いただいています。班長さんたちには、仕事の依頼者との打ち合わせや就業会員の配置など大変ご苦労をお掛けしているところですが、お陰をもちまして、今シーズンの各職種の依頼された仕事も全件を無事終えることができました。

班長の皆様、本当にありがとうございました。

～当センターの「職群班」及び班長さんを紹介いたします。～

◇「庭木剪定班」 (総括班長) 駒井 良一

(班長) 佐藤 文也 (班長) 村岡 嘉七 (班長) 葛西 盛治

◇「薬剤散布班」 (総括班長) 谷 正治

◇「草刈り・除草班」 (総括班長) 北山 利昭

【草刈り班】 (1班 班長) 佐藤 正雄 (2班 班長) 沢 武彦 (3班 班長) 佐藤 昭治

【除草班】 (1班 班長) 須藤キサ子 (2班 班長) 三上 義春

◇「家事・介護班」 (総括班長) 間山文子 (班長) 福原 礼子

最後に『各職群班の皆さん、その他就業に従事された全会員の皆さん！

今シーズン“お仕事”お疲れさまでした。』

□ 除雪作業に従事する方を“緊急募集”します。

冬期間は主に除雪作業の依頼が多く、依頼に対応する会員が足りないため、毎年悩むところがあります。今年も市の委託による、高齢者世帯の除雪作業(約90件)の依頼が来ています。

例年同様、一般からの雪下ろし、排雪作業等の単発依頼も多いと予想されます。

会員の皆さん！就業できる方！お電話お待ちしております。

今すぐ 52-5131 へ(事務局)までGO!



□ 平成27年 配分金振込日

平成27年1月振り込み分から、配分金振込日を毎月22日に変更いたします。また、今までより振込日が早くなるため、就業報告書も早めに提出をお願いします。※提出は(毎月10日までに)

※青森県シルバー人材センター連合会(灰色の封筒で明細が届くもの)から振り込まれる賃金の振込日は、変更ありません。

□ 安全委員会からお知らせ ～安全はすべてに優先する～

会員の皆さま、これからの季節、路面の凍結や除雪作業等により、就業中及び就業途上において、事故が増える事が心配されます。事故防止のために万全な態勢・万全な体調で「安全第一」を常に心がけ、安全就業していただきますようお願いします。

【心得と自己管理】

- ① 就業中は常に安全保護具の完全装備と着用により作業にあたること。
- ② 就業中の事故を防ぐため、年に一回は必ず健康診断を受け、体調の管理は徹底すること。
- ③ 自分自身の体力や機能の低下を十分認識し、無理をしないこと。
- ④ 作業前の現場確認や周囲・足元等の状況把握等には常に気をつけること。

□ 理事長のつぶやき ～◇ 優しさで気配りをめざし ◇～

「網走番街地」「幸福の黄色いハンカチ」、「仁義なき戦い」「トラック野郎」などで、銀幕を飾り一世を風靡したスター高倉 健さんと菅原文太さんが、11月中に相次いで亡くなった。

二人の年齢は、83才と81才だったが、日本男性の平均寿命を超えているので、決して若いとは云えないが惜しい方を亡くしたものである。

銀幕を観たことしか分からないが、正に巨星落ちるで、二人とも朴訥として飾りっ気がなく、義に厚い男そのもので、多くのファンがその死を悼み、悲しんだと思います。

昔から映画ファンとして足繁く映画館へ通った私としては、本当に残念であるが、二人の好きだった言葉が胸に残っている。

まず、高倉 健さんが『このみちやいくたりゆきしわれはけふゆく』という言葉で、正に健さんの映画に対する一途な面を謳ったものだと思う。

菅原文太さんは、「朝道聞かずば夕べに死すとも可なり」という言葉で、常に精一杯実直に生きようとする男の生き様を表しているものだと思う。


どちらも、人知れず苦勞してスターに上り詰め、人を気遣う処は似たようだが、生活ぶりは大分違うようである。

高倉さんは、私生活が全く見えないらしく、一部の人がしか分からなかったようだが、その風貌からは想像できない程、気配りの人であつたらしい。

また、菅原さんは晩年有機農業をやって「八味唐辛子」なるものを作ったが、本人曰く「ヘソ曲りで人と同じものを作りたくないのの一つ加えた」という。

また、「トラック野郎」を観て、所謂ゆる「デコトラ（装飾トラック）」の運転手になった人が数知れない程多く、その影響力は今でも続いているようだ。

とにかく、あと20日余りで新年を迎えるが、私も二人にあやかって、自分の思いを貫く意志と優しさ、気配りができるそんな人間になれたらと思う師走である。

今年亡くなった方のご冥福を祈り、心から哀悼の意を表したい。合 掌・・・ 

発行 公益社団法人 黒石市シルバー人材センター

〒036-0306 青森県黒石市大字内町61番地1

TEL 0172-52-5131

緊急連絡先 080-6011-5131